

## 平成 29 年度 第 1 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時 平成 29 年 8 月 10 日（木）14 時～17 時  
場所 電力中央研究所大手町地区 710B 会議室  
出席 大原利眞会長、近藤明副会長、畠山史郎副会長、伊豆田猛、大泉毅、内藤季和、  
中井里史、速水洋、松田和秀各常任理事

### 議題

#### 1. 平成 28 年度事業報告について

平成 28 年度事業報告（案）について説明があり、若干の修正後、承認された。今年度の主な留意点は以下の通り。

##### （1） 会員の状況

正会員は前年比 20 名の減少、法人会員 A は 9 名の減少、法人会員 B は 2 名の減少、学生会員は 20 名の増加、賛助会員は 1 団体減少（1 口減少）であった。

##### （2） 研究会による受託調査研究等の実施

環境再生保全機構からの受託研究を継続するとともに、新たに、排出インベントリ研究会及びペーパーリターン研究会が環境省からの受託調査を実施した。

##### （3） 出版等

例年通り、大気環境学会誌を 6 号、AJAE を 4 号、それぞれ刊行するとともに、新たに入門講座集等のダウンロード販売を開始した。

#### 2. 平成 28 年度収支決算について

平成 28 年度財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等）について説明があり、承認された。主な留意点は、以下の通り。

- ① 当期利益は ¥ 3,477,571 であり、単年度としては、2 年連続の黒字、正味財産合計額は、¥ 2,115,010 の黒字
- ② 経常収益では、会費収入が会員数減少により、前年に比べて ¥ 150,000 減少。事業収入では、雑収入に、調査研究事業収入及び年会の余剰金、寄付金があり、¥ 2,458,677 がプラス。
- ③ 経常費用のうち、事業費では、大気環境学会誌の発行経費が前年に比べて ¥ 460,704 の減少、年会経費は ¥ 1,935,879 の減少。
- ④ 経常費用のうち、管理費では、学会運営費が前年に比べて ¥ 83,068 の減少、事務費は ¥ 350,473 の増加。

#### 3. 平成 28 年度監査結果について

平成 29 年 7 月 31 日に行われた平成 28 年度監査には、野口、平木各監事、大原会長、中井理事、大泉理事、小御門氏（会計事務所）が出席した。監査結果について、以下の通り説明があり、承認された。

- (1) 監査内容：①平成 28 年度事業実績について、②平成 28 年度一般会計決算について
- (2) 監査報告：監査の結果、事業は適正に実施され、会計決算については、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録と帳簿、証拠書類を監査したところ正確に処理されている。
- (3) 監査要望事項
  - ・ 今回の赤字脱却は、年会余剰金と受託研究余剰金によるものであり、一時的なものである可能性が考えられ、抜本的な赤字体質の脱却とは言い難い状況
  - ・ 財政的に危機的状況にあることを会員全体で認識を共有し、事業収入の増加に向けた取り組み、収入増加が見込めないならば事業の効率的執行や収入に見合った健全な事業展開（年会の運営を含む）を強く要望

#### **4. 平成 29 年度第 1 回理事会議案（電子メール決議）について**

平成 29 年度第 1 回理事会の議案として、会長が、理事及び監事の全員に対して、議案書（第 1 号議案：平成 28 年度事業報告の件及び第 2 号議案：平成 28 年度収支決算の件について）を発信し、メール審議を行うこととした。法人法第 96 条の規定に基づき、事前に理事全員から議案承認の同意書を受領し、法人法規則 15 条 4 項に拠って議事録を作成することにより、理事会決議を省略する。

#### **5. 平成 29 年度総会議事について**

第 58 回年会総会及び平成 29 年度定時総会議事について、事務局提案通り承認された。

#### **6. 事務局移転の取り組み・電子ジャーナル化について**

中井理事から、(1) 学会誌の電子ジャーナル化、(2) 事務局機能移転について、WG の検討結果について主に財政面からの報告があった。引き続き、詳細な検討を進めることとした。

また、速水理事から、電子ジャーナル化について、現在の冊子体から電子ジャーナルへ移行する主旨やスケジュールについて提案があり、事務局機能移転の検討に先行して、現在の編集体制を維持しつつ、冊子体を廃止して電子ジャーナル化する方針が了承された。なお、印刷物等が必要な会員等への対応については引き続き検討することとした。資料「大気環境学会誌の電子ジャーナル化について」を若干改訂した上で、本年度定時総会で大原会長が報告することが承認された。

#### **7. 60 周年記念募金について**

平成 28 年度第 4 回常任理事会で提案された「基金」については、定款に定めがないため募集するのが困難である。そのため、寄付金取扱規程に定める特別寄付金（用途及び運用方法を指定

して募集する寄付金)として、募集を実施することとした。資料「募金への寄付のお願い」を若干改訂した上で本年度定時総会において配布することにより、本募金を開始する。

## 報告

### 1. 第 58 回年会の開催準備状況について

- ① 年会の概要、年会時の理事会、総会、各委員会等の開催計画、第 57 回年会の総会進行スケジュールが事務局から説明され、年会事務局と調整の上決定することで、承認された。
- ② 日中韓国際交流シンポジウム関連行事について、松田理事から説明があり、承認された。

### 2. 60 周年記念「論壇」について

速水理事から、大気環境学会誌において、上記論壇を開設し、執筆者を募ることが説明され、承認された。

以上

## 資料 (リストのみ掲載)

1. 平成 28 年度事業報告 (案)
2. 平成 28 年度財務諸表 (案)
3. 平成 28 年度監査関係資料
  - 3.1. 平成 28 年度監査報告書
  - 3.2. 平成 28 年度監査結果
4. 平成 29 年度第 1 回理事会議案関係
  - 4.1. 平成 29 年度第 1 回理事会議案書
  - 4.2. 平成 29 年度第 1 回理事会議案同意書 (理事、監事宛) (案)
  - 4.3. 平成 28 年度事業報告及び収支決算案説明資料
  - 4.4. メール理事会送信文書 (案)
5. 平成 28 年度総会議事次第 (案)
6. 事務局移転・電子ジャーナル化検討資料
  - 6.1. 大気環境学会誌の電子ジャーナル化について (案)
7. (公社) 大気環境学会設立 60 周年「大気環境未来 60」募金への寄付のお願い (改定版)
8. 第 58 回年会の開催準備状況関係資料
  - 8.1. 第 58 回大気環境学会年会概要
  - 8.2. 理事会・総会・委員会等開催計画
  - 8.3. 日中韓国際交流シンポジウム関連
  - 8.4. 第 58 回年会総会進行スケジュール案

## 9. 60周年記念論壇募集